

刊夕日九廿月九

# 常警日新聞

定額一圓 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓  
廣告料五圓 十二字一圓 一行五圓 五字一圓  
日曜祭日の日休刊  
發行所 常警日新聞社 東京市本町三丁目  
電話 六三〇〇  
印刷所 常警日新聞印刷株式会社

## 名譽狂

眞繼雲山

近頃は世事萬端、宣傳はやりで、肩書があり、名前が賣れておらねば手も足も出ず、謂はゆる無名の士は珠玉を抱いて永久に朽ちねばならぬ。猫も杓子も賣名が世間的成功の先決問題であるところから、さてこそ相當、人格識見の有りさうな男も、名譽の奴隷となり名譽のために憂き身をやつすのである。

斯うした名譽狂患者はスビード時代の新製品かと思へば、左にあらす。親鸞聖人の和讃には『小慈小悲はなけれども名利に人師を好むなり』とあつて、少しの慈悲心も無いにせよ、名譽のために人の師匠になりたがるのだと洞察されてゐるから、新聞も雑誌もなかつた七百年前に、既に名譽心ゆゑに、人前で講釋した連中が多かつたと見える否な、今から二千五百年前の釋尊御在世の當時にさへ既にこの名譽狂といふ連中が充滿してゐたものと見え、菩提戒經には『名聞利養のための故に惡を求むることすす／＼多し』とあり、降つて龍樹の菩提心論には『凡夫は名聞利養の具に執

着し、ほしいままに三毒五欲を行ふ』とあり、法華經勸持品には『名聞を求むる者のためにこの經を説く』とある。

名聞とは名譽を求むること、利養とは利慾を養ふことであるから、これを現代式にいへば賣名利祿の徒といふことになる。三千年前すでに然りとせば結局、文化人と未開人との區別なくまた大人物と小人物との別なく、人間は口や鼻を具へてゐると同じ程度に、先天的に名譽心に染着する動物一種のむさぼりであるからその慾を却け切つたものが佛様である。

## 秋日集 (一)

島田忠夫

秋の日の光しみらになりけり 大津の濱に妻と安らぐ  
いばらきの大津みなとに 病み妻を養はしめて日をすぐすなり  
秋ふかひ里根川面に しろじろとまるたの跳ぬる夕べなるかも  
秋の川ひえびえと 青き水いろやわが病み妻はしはぶきにける  
市原里川國手に 灯のもとに歌作りある 醫先生の童さびたる面わしたしき

田を作れといつたが、名譽に狂奔するヒマと資本で米でも作つたなら、今日の不況日本も何程か救済できると思ふ。

論者は、宗教とは、時代と共に進化せねばならぬといふも、如何にラヂオ飛行機が飛んでも、人間の本性が三千年前と少しも違つたものでなく、相變らず名譽と生死に囚はるゝ煩惱のたまりといふことなら、宗教も二千五百年前の品で澤山、宗教改革は斷ち煩悩の新工夫が完成してからの後の話である。

とか「朝緑」とか勝手な名をつけて喜んでゐるが、肝腎の御本尊いや御本馬は自分が初風だとも朝緑だとも思ふておやしな。名字と實体とは何の交渉もなく、馬が鹿でも差し支へないが馬鹿といはれて怒るのは、馬にも劣る錯覺である。名譽とはもど空にして、その價値なきこと犬や猫の名前とドッコイ／＼であるが、賢さうな現代人がその名譽の奴隷となつて狂奔するといふのは、矢つぱり迷ひの賜ものなるべし。  
再説す、詩を作るより田を作れ、懸け聲ばかりの農村救済では腹はふくれず、千言萬語は念佛に如かず、念佛は禪定にひとしいが、坐して定善に入り難き散機のもとがらは、佛號を稱へて佛智に入るがよい。虚假不實から抜け出したのが眞實の永生である。【一元】



## 常警歌壇

朝光のときき初めたる 椎の木の上枝に百舌鳥の高鳴き  
はげし  
椎の木の上枝に百舌鳥の高鳴きて 朝はすしく秋さりにけり  
美まらず嘆かず 勵む村人の幸多かれと かけて祈りぬ  
春よりし母の 勵みは 酬いられませに 雄雞は ときをよくなり

## 金銀高價買入

### 東京(り)商店

出張所 旅館 會津館  
平驛前(元平劇場跡)  
電話 六四八番  
御一報次第社員參上有利に御相談も致します。



六三四電通場車停目丁四町平

印刷御用命は總て  
常警日印刷株式會社  
電話 六三〇番

## 新製品

コーヒー通の待望せる  
挽立コーヒーの快味  
四半卦罐入 〇、三五  
半卦 〇、六五  
コーヒー發賣  
グアテマラ 三割五分  
モアツマカ 三割五分  
ジャバ 四割五分  
速席挽立てを差上げます  
大勝園コーヒー部  
電話 三九六番

平新川町十九  
外産婦人科  
木村病院  
電話 一六四番  
院長 木村寅次郎  
産婦人科 醫學士 内木宗八

外産婦人科  
院醫坂井  
町田町平  
番九五五話電

ツブシ・金銀  
高價買入  
修繕 迅速 町寧 廉價  
星野時計店  
平三丁目驛前通り

# 金箱を目前に

## 齒ギンリの養蠶家

### 雨天續きに給桑が遅れて

### 買手殺倒するに出荷なし

四倉繭市場の晩秋繭取引は依然強氣を含んで居るが各養蠶家は上簇期の蠶兒には乾燥せる給桑を必要とするに拘らず昨今の降雨續きに桑葉の濡氣甚しき爲め眼の前に金箱を見ながら上簇が遅れたり止むなく蠶兒を投げ出す者等があつて昨廿八日の市場は買手殺倒するに買手の出荷なく取引は休止された

## 晴好

### 待ちあぐむ

### 降ると賣れない石城梨

### 東京進出の成績

既報石城郡農會の石城梨は本日迄に既に十車(三千二百箱)を東京市場に輸送したが其の販賣成績は降雨の日は賣行か思はしくないの

教育會石城郡會役員會は來る十月五日平第一小學校に於て開かれるが協議事項は總集會の日取其他種々である

## 二師團の演習に

### 磐中及び平商が参加

にては昨報の如く來る十一月四日より十日間平町及び郡山市間を中心として行れる第二師團留守隊の秋季聯合演習に各々参加すると

## 作文國旗

既報平選抜兒童第一及び第二小學校にては時事新報社主催の國旗に關する作文の懸賞に應募する爲め全

校生徒より募集し審査中の處本日左の生徒の作品を選抜し同社宛に發送した

△第一(三年)諸橋英二  
龜山正邦 三井(四)

## 公益質屋の

### 設置を望む

### 今や各町村に

### この叫が漲る

石城郡下各町村殊に農村に於ける金融機關は永らくの不況に祟られて依然活潑な働きを見せないの各農村の中産階級以下は多く私設質屋を利用するので公益質

屋設置を望むの熱が各村に漲り既に川前鹿島兩村にては設置運動を起して居る等今後は各村に傳波する模様である

## 肥料 是等の取引を

### 如何にする?

### 農家の更生策に

### 購買組合が講習

石城購買販賣利用組合では農村不況に對する自力更生策の一方法として十月一日より三日間團體事務所樓上に於いて講演會を催す事となつたが講師及び科目は左の如く決定した

聯合會主事大谷徳太郎 (雜貨取引)同西澤文雄 (米穀取引)同小谷野新太郎  
既報濱三郡木炭移出商組合

## 健保の陸上競技

### 出場選手五百名

既報來る十月十六日午前八時より磐中グラウンドに於て開催される本縣健康保險課主催被保險者陸上競技大會の區域は平町及び附近の工場並に礦山の被保險者千五百名にて當日の出場選手は五百名であるが審判其他一切の係は磐中職員が中心である

## 競争田の視察

石城郡農會主催の中堅農民講習會同窓會員二百名は明日午前九時草野村役場に集合し同村の競争田を視察すると

## 磐中磐炭野球

磐城中學校對磐城炭礦の野球戦は來る十月二日高坂グラウンドに於て行ふと

## 平百面鏡

平町二丁目なかや洋服店では既に學生服の賣出しを始めたが左の如き特價提供である

## 東部電力 特典期間

東部電力平營業所にては十月一日より十五日間電燈照明改善に特別サービスを實行する事となり右期間中の申込みに對しては最新式電球材料提供を爲し点火料及び取付工料共に無料である

## 平町人事

△鎌田三九 圓野重吉氏二男四郎  
△白銀町一三 高橋傳明氏長男博一  
△三丁目一三 當時東京市四谷區鹽町三ノ四ノ森口菊彌氏二女和子

### 美味!

### 芳醇!

# 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

### 看護婦急派の求めに應じます

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

### 一冊の代金で御希望通りな

### 五冊の雜誌が自由に讀める

### 川崎巡回文庫

電六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

### 低資の返済が不如意の者に再び融通する

#### けふ平町役場に齋らされた福音

平町の中商工業者中低利資金の借入済の者に對し再び低資を貸付けると云ふ福音が本日平町役場に入つたが、是は現在低利資金の融通を受けた者の内で不況の爲め其後の経営不如意の爲め借入金金の元利支拂に窮して居る者に限つて新らたに七年度分元利支拂豫定金の六割乃至八割を貸付て救済せんとする資金で希望者は十月末日迄に平町役場に申出られ度いと

### 出荷振興 對策懇談

水戸運輸事務所では來月五日水戸市役所樓上に於いて管内各驛の出荷振興對策懇談會を催す事となり石城郡農會にも本日出席方勸誘し來つたが平町及び附近町村より五十餘名の出荷者が出席する模様である

### 平婦人 役員會

平婦人會にては來る十月三日午後一時より第二小學校に於て役員會を開き總集會の日取及び視察の件を協議すると

### 軍人遺族 三氏上申

軍人遺族の徽章下附に就いて遺族調査中の處第一回分として左記三氏を上申した  
緒形惟親(紺屋町)沖野仙太郎(中町)吉田長重(胡摩澤)

### 第二校制服の標準型が決定

徐々に普及を圖る

平第二小學校生徒の制服は既記の如く父兄達一般の熱望に依つて研究を進めて居たが一先づ標準型として左記の如く決定し徐々に此の服裝の普及を圖る事となり來月三日午後一時より保護者會を開いて諒を求むる事となつた

(型)セーラー型にて高女の制服と同型となす(布地)紺サージ(形)小中大、特大の四種(スカート)持合せの者が多い故是れを利用す(ネクタイ)エンデ色にて蝶形(ポケット)左上方、右下方の二ヶ(其他)衿、袖口、上のポケット等に白線を附し上衣の前を全部明けてホック留とす

### 明日のラジオ

今夜は北東の風 曇り明日は午後から晴れます

### 今晩の部

後六、〇〇 連續物語「大和路の秋」BKコードモナーク  
後八、〇〇 ラヂオドラマ

活動を無料で教育し實習期一ケ年で月六圓の手當を支給するが年齢は十七才から三十才迄の者で今日日中に平町役場へ申込まれ度いと

### 柿の共同出荷

石城郡小川村果樹組合では明日日午後一時より下小川字柴原三邊繁治方に於いて總會を開催し柿の共同出荷に就いて協議を行ふと

### 海岸線展覽會

海岸線社主催のソヴェートの友の展覽會は來月七、八の兩日午前十時より午後九時迄(但し二日は午後三時迄)平町マルトモホールにて開かれると

### 正式公判を仰ぎ 却つて重い求刑

既報石城郡湯本町宇辰ノ口四十三番地自動車運轉手長岡義藏(三〇)が業務上過失傷害の罰金に不服で仰いだ公判は本日午前十一時より平區裁判所公判廷に於て中島判事係り、市川檢察及び渡邊書記立會の下に開廷され事實訊問の上市川檢察の論告に移つたが

自己の不注目を糊に上げて略式命令に對し不服を申立るのみならず被告は以前の取調に際し被害者は六十日で全治したと申立たが實地檢證して見ると未だ全治せず本日迄既に五ヶ月間の日子を要して居る

とて先の略式命令罰金六十

### 失業を苦に病み 自殺の覺悟で家出

石城郡江名町南町魚行商人馬目久五郎の二男恒次(七)は本年八月炭礦を失業したのを苦に病み最近極度の神經衰弱に罹つて悲觀し去る廿七日夜活動見物に行くと稱して家出した儘歸らず自殺の愼れがあるので本日平署に捜査方を願出た

無免許運轉で罰金、石城郡小名濱町字竹町二十三番地小磯賢一郎方自動車運轉手阿部正勝(三)は去月十三日茨城縣結城郡絹川地内に於て無免許の折笠市太郎(三六)に貨物自動車運轉せしめ自動車取締令違反として各料料十五圓宛に日本平區裁判所に於て略式命令を以つて處分された

### 平職業紹介所報告

回求人部  
△ミシン見習 十七才 尋卒 仕着小遣(東京市某)

### 明日の部

「賤機帯」松永和風  
後八、〇〇「落語の夕」(置き泥)柳亭芝樂(天災)

前九、一〇料理献立「鳥賊の根生美焼」朝倉長吉  
前一〇、三〇家庭講座  
後〇、〇五俳諧と仁和  
加菊枝外大勢  
後二、〇〇婦人講座「新たに編入せらるゝ新東京」

延したが言渡しは明日であると

の名所舊蹟(一)谷口梨花  
後二、二五運動競技「六大學野球リーグ戦試合状況」豫備日  
後六、〇〇子供の時間  
兒童歌劇「氣みちか殿様」  
北村兒童歌劇協會  
後七、三〇長唄名曲演奏  
蝶花樓馬樂(愛宕山)桂文樂(意地くらべ)柳家小さん

### 市原醫院

平町田町  
電話一四四番

△車力 五十才 尋四修  
給料面談(平町某)

△女中 四十五才 無學  
給料面談(大野村某)

△土工 四十三才 高一  
給料面談(三重縣某)

△コック 二十六才 高卒  
給料面談(相馬郡某)

△大工職 三十七才 尋四  
給料面談(新潟縣某)

## 中村齒科醫院

平町鍛冶町七

紙質純良・印刷鮮明  
御名前入用箋  
百枚綴一冊廿錢(三冊以上割引有)  
平・長崎 常磐毎日印刷株式會社 (電630)

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第百六十三席 女流劍客里見靜枝

圖らずも敵の手掛

千葉周作先生は小松屋の主人より秋山要介が病中に門人の下に養生いたし居ると聞き

周「それは氣の毒な事だなシテ長いこと引籠り居るか

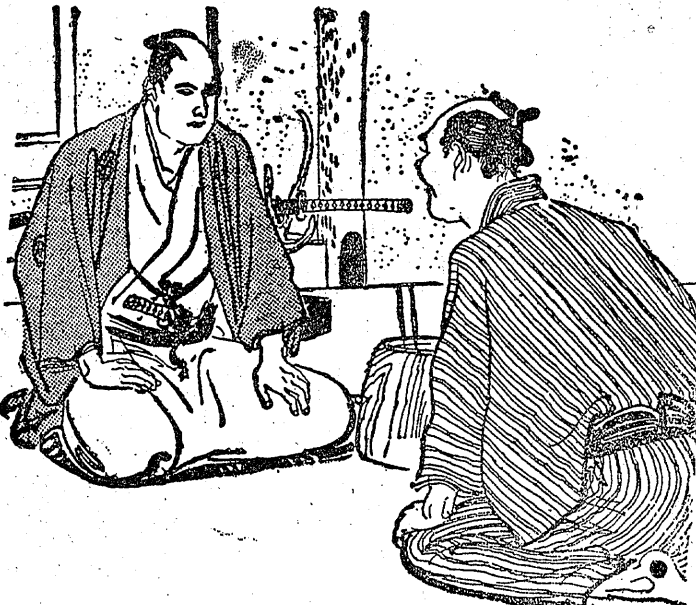
小「左様でございます、もう一歳ほどになりませうかあまりお酒を召上りました爲に身體を痛めて中風に罹つたとの事でございます」

周「それは難儀であらう」

小「半身利かぬさうでございます、當時杉山とか云ふ御門人の下にお在になりませうが、何しろ中風症は長にかゝりますから茲二三年は竹刀を執ることもありません、豪傑でも英雄でも病に勝つ事は出来ませんナ、秋山先生は劍術では神様のやうな方でございますがどういふわけか素行が悪く博奕打の下に食客をしては暴れ廻つて居りまして惜しい人物でございますがこれは玉に瑾でございます、あなたに試合を申込んで熊谷の土手で雪踏で打つたさうでございます」

周「そんな事もあつたよ、秋山は狂人のやうな所だ、あれを田舎へ逃がしたさうでございます、なんでも其侍は決闘をして相手を殺し血刀を提て秋山先生のお在なざる杉山とかいふ方の道場に來たに就き先生が世話をして江戸を立退かせたさうで御座います」

周「ウン、其様な事があつたか、何人から其事を聞いた」



小「それは私共へ此頃來て居ります飯焚の久助が杉山様の元に居りまして、其侍の來た事を知つて居ります又秋山先生が其奴を田舎に逃がした事も存じて居ります、なんでも三人で一人を

周「さうか、秋山氏も變つて居るな、人を殺した惡漢に力を添へるとは、然し決闘の上にて斬つたとあらば金錢に眼がくらむで殺した譯ではない、さすれば武士の意氣地としてそれを隠匿又他國に走らせればとて不埒な行爲とも申されまい」

小「まア何にしても秋山先生は變り者でございます、人の厭がるものだとそれを可愛がります、横紙破りでも申しませうか」

周「面白い氣性だな」

周「それは難儀であらう」

小「半身利かぬさうでございます、當時杉山とか云ふ御門人の下にお在になりませうが、何しろ中風症は長にかゝりますから茲二三年は竹刀を執ることもありません、豪傑でも英雄でも病に勝つ事は出来ませんナ、秋山先生は劍術では神様のやうな方でございますがどういふわけか素行が悪く博奕打の下に食客をしては暴れ廻つて居りまして惜しい人物でございますがこれは玉に瑾でございます、あなたに試合を申込んで熊谷の土手で雪踏で打つたさうでございます」

周「そんな事もあつたよ、秋山は狂人のやうな所だ、あれを田舎へ逃がしたさうでございます、なんでも其侍は決闘をして相手を殺し血刀を提て秋山先生のお在なざる杉山とかいふ方の道場に來たに就き先生が世話をして江戸を立退かせたさうで御座います」

周「ウン、其様な事があつたか、何人から其事を聞いた」

小「それは私共へ此頃來て居ります飯焚の久助が杉山様の元に居りまして、其侍の來た事を知つて居ります又秋山先生が其奴を田舎に逃がした事も存じて居ります、なんでも三人で一人を

周「さうか、秋山氏も變つて居るな、人を殺した惡漢に力を添へるとは、然し決闘の上にて斬つたとあらば金錢に眼がくらむで殺した譯ではない、さすれば武士の意氣地としてそれを隠匿又他國に走らせればとて不埒な行爲とも申されまい」

小「まア何にしても秋山先生は變り者でございます、人の厭がるものだとそれを可愛がります、横紙破りでも申しませうか」

周「面白い氣性だな」

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病

**林病** 淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病

門專 院醫科

松村 腸胃病 胃性 町南平

電話一七〇七

物質一般 各種債券類

**三井質店**

平町南四丁目 電話六〇六

岸川目六番

たして強たかに打据えてく

れます」

周「それはいかん何とならば秋山病中にしてしかも半身利かぬさうだ、それと試合いたすことはなるまい」

造「儲は病氣でございますか、儲も好運な奴でございます、ますな壯健であらば骨の碎けるほど打つてくれるものを、半身不隨の病氣によつてこれを免れるとはウーム憎い奴だ」

と平手は唸つてゐます。

**江戸前料理 合巻**

秋の味覺……

松茸料理 始めました

ゼヒ一度御試食下さい

出前！迅速！

錦水

電話四五四番

**川井内科診療所**

醫學士 川井重之

女醫 川井安子

電話一八一番

平町南町六五

宅診 内科は何でも診療致します

往診 呼吸器病ばかりではありません

**漆器は共が専門**

品質の正確と!!!

値段の破格と!!!

在庫品の豊富と!!!

懸命の奉仕は!!!

弊店のモットー!!!

各國産漆器専門卸小賣

**丸共榮漆器店**

平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

記念表彰品。恩賜賞與品。御注文應調製

進物贈答品。賞品景品類。

店員募集 (十三才ヨリ二十二才マデ)

度量衡、計量器、吸入器、酸素、酸素吸入器

**關内藥局**

電話四〇番